

竹富美ら島地区農具庫建築工事

黒島 亨太

令和3年度

公益財団法人 沖縄県農業振興公社

図 面 目 録							
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
意匠	農具庫	構造	農具庫	電気	農具庫		
A-01	特記仕様書-1	S-01	構造設計標準仕様-1	E-01	特記仕様書(電気設備)-1		
A-02	特記仕様書-2	S-02	構造設計標準仕様-2	E-02	特記仕様書(電気設備)-2		
A-03	特記仕様書-3	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	E-03	特記仕様書(電気設備)-3		
A-04	特記仕様書-4	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	E-04	構内電気設備平面図		
A-05	特記仕様書-5	S-05	柱状図	E-05	電気設備平面図		
A-06	特記仕様書-6	S-06	基礎伏図・基礎詳細図				
A-07	案内図・敷地求積図	S-07	R階梁伏図・各リスト表				
A-08	配置図	S-08	軸組図(1)				
A-09	仕上表・求積図	S-09	軸組図(2)				
A-10	平面図・配置計画図	S-10	架構配筋図				
A-11	屋根伏図・詳細図						
A-12	立面図						
A-13	断面図						
A-14	断面詳細図						
A-15	ハンガー戸詳細図						
A-16	鋼製建具詳細図						
A-17							
A-18							
A-19							
A-20							
A-21							
A-22							
A-23							
A-24							
A-25							
A-26							

黒島 亨太

工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事			工事年度	令和 2 年度	
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田 194番1・199番1			図面名称	避難舎：図面目録	
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社			縮 尺	—	
摘 要 検 印	管 理 建 築 士 設 計 製 図			図面番号	A — 00	
				名 称	株式会社 タップ	
				資格者氏名	管理建築士 小濱 定和	
				登録番号	1級建築士 第 172077 号 登録番号 第 190-1411 号	
				所 在 地	沖縄県那覇市宇上間210番地4	

平成26年度

建築工事特記仕様書【建築工事編】

制定 平成28年6月30日

最終改定 平成29年2月22日

1

工事概要

(1) 工事名

竹富美ら島地区牛舎等建築工事

(2) 工事場所

沖縄県八重山郡竹富町字小浜山194番1・199番1

(3) 敷地面積

6,415.00 m² (用途地域：)

(4) 工事科目

新築

ア 建築物

建築物の名称	避難倉(牛舎)	堆肥倉	農具庫	
主要用途	畜舎	堆肥倉	農具庫	
構造及び階数	RC造平屋	RC造平屋	RC造平屋	
工事種別	新築	新築	新築	
建築面積	419.05	63.00	m ² 93.07	m ²
延べ面積	419.05	m ² 63.00	m ² 93.07	m ²

工作物等の名称			
数量			

2

本工事の設計時期

本工事の設計書は、平成31年4月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単等に基づいて作成している。

3

建築工事仕様

(1) 標準仕様

図面及びこの特記仕様に記載されていない事項は、すべて官庁営繕関係統一基準の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」〔平成31年版〕（以下「標準仕様書」という。）による。

(2) 特記仕様

ア 章は、番号に○印の付いた章を適用する。

イ 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

ウ 特記事項は「・」に○印の付いたものを適用する。「・」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。「・」と「※」共に○印が付いた場合は共に適用する。「※」を適用しない場合は、「・」に変えること。

エ 特記事項のうち【 】については、適用する事項を選択して記載すること。

オ 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

カ 特記事項に記載の（参・ ）は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」〔平成31年版〕の各部配筋参考図の当該項目を示す。

キ 形状寸法の単位は、特記なし限りmmとし、質量も従来どおりkgであるが、力（N：ニュートン）、応力（N/mm²）、圧力（Pa：パスカル）、エネルギー（J：ジュール）等は基本的には国際単位系（SI単位）を使用する。

4

その他

(1) 公共事業労務費調査に対する協力

ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。

イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。

ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。

エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(2) 暴力員等による不当介入の排除対策

受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力員等による不当介入の排除手続きに関する合意書（平成19年7月24日）」に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。
なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。

ア 暴力員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

イ 暴力員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。

ウ 暴力員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。

(3) ワンデーレスポンスの実施

ア この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、何日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、即ち何の回答を「その日のうち」にすることである。

イ 受注者は計画工協議書の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。

エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

(4) 工事監業務の一部委託

ア 本工事は、沖縄県規則第112条第1項の規定に基づき発注者又は建設工事請負契約書（以下「契約書」という。）第9条に基づく監督員（以下「監督員」という。）が行う監業務の一部を委託し、職員以外のもの（以下「管理技術者等」という。）が監業務の一部を実施する。
イ 受注者又は契約書第10条に定める現場代理人及び主任技術者等（以下「現場代理人等」という。）、管理技術者等が監督員に代わり現場で立会等をする場合には、その業務に協力しなければならない。
また、書類の提出に関し、説明を求められた場合はこれに応じなければならない。ただし、管理技術者等は、指示、承諾、協議及び確認の適否等を行う権限は有しない。

1

適用基準等

・ 建築工事監理指針【国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修】〔平成28年版〕

・ 建築工事標準詳細図【国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修】〔平成22年版〕

・ 敷地面積共通仕様書【国土交通省、国営第183号】〔平成23年12月〕

・ 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿【平成21年版〕

・ 営繕工事写真撮影要領〔平成28年版〕

・ 「磁気探査実施要領（案）【沖縄県土木建築部】〔平成25年4月〕

・ 「沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体等・再資源化等及び再生資源活用に関する実施要領【沖縄県土木建築部】〔平成18年12月〕

・ 構造計画・施工計画の留意事項【沖縄県土木建築部】〔平成25年4月〕

2

工事実績情報の登録

登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。（1.1.4）

3

工事の一時中止に関する事項（1.1.9）

工事の一時中止に係る計画の作成

(1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにすること。

(2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備える工事現場を保全すること。

4

工事の余裕期間

本工事は、余裕期間を設定【・して・しないで】実施する工事である。
本工事は余裕期間として【日間】を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮していない。

(2) CORINDS登録については、実工期期間にて技術者の従事期間の登録を行うこと。

(3) 余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は、不要とする。

(4) 受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものである。

(5) 受注者は、着手関係書類（工程表、請負代金内訳書を除く）について、実工期の始期に提出するものとする。

5

概成工期（1.2.1）

6

品質計画等（1.2.2）

建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。

(1) 風速：V0＝46 m/s（平12建造第1454号第2）

(2) 地表面粗度区分：Ⅲ

(8.4.3）（8.5.3）（9.4.4）（10.5.3）（13.2.3）（13.3.3）（13.4.3）（14.7.3）（16.14.5）

7

施工図等（1.2.3）

(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

(2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため各室の平面図、展開図、天井伏図（各1/50程度）及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。

(3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。

8

電気保安技術者

電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し保安業務を行うこと。（1.3.3）

9

施工条件（1.3.6）

施工順序等の制約・無し・有り【・現場説明書による・図示・】

工事車両の駐車場所：・図示・現場説明書による・

資材、機材置場：・図示・現場説明書による・

建設発生土の仮置場：・図示・現場説明書による・

その他の施工条件：・図示・現場説明書による・

10

施工中の安全確保及び環境保全（1.3.7）（1.3.10）

(1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号）による建設機械を使用する。

(2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付け建設省経機第249号最終改正平成14年4月1日付け国総施設第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
一般工用建設機械（ディーゼルエンジン出力7.5～260kW）
ア バックホウ
イ 輪軸式トラクタショベル
ウ フォーダー
エ 空気発電機
オ 空気圧縮機
カ 油圧ユニット（基礎工用機械で独立したもの）
キ ローラークレーン
ク ホールークレーン

11

交通安全管理（1.3.8）

国道5路線及び県道7路線における営備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。（平成18年12月1日 沖縄県公安委員会告示第163号）

12

発生材の処理等（1.3.11）

(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。

発生材の種類	発生材の種類
発注者に引き渡すもの	監督員と協議により決定
特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法	監督員と協議により決定
現場において再利用を図るもの	監督員と協議により決定

(2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税（沖縄県産業廃棄物税）が課税されるので、適正に処理すること。

黒島 亨太

工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事	工事年度	令和2年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山194番1・199番1	図面名称	避難倉・特記仕様書-1
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮尺	—
		図面番号	A—01
摘要	管理建築士 設 計 製 図	名 称	株式会社 タップ
		資格者氏名	管理建築士 小濱 定和
検 印		登録番号	1級建築士 第172071号 登録番号 第190-1411号
		所在地	沖縄県那覇市字上間210番地4

①	一般事項	⑬ 主任技術者・監理技術者	⑭ 工事の保険等	⑮ ゆいくる材の使用等
	(3) 工事着手前にあらかじめ、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出する。また、工事完成時には、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督員に提出する。なお、提出に当たっては国土交通省のホームページで提供されているOREDAS（クレダス）入力システムで作成したデータ形式により行うこと。 (4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆいくる材の認定を受けた施設又はゆいくる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆいくる材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。 (5) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前に掲げる施設のうち、受入条件の含み中から運搬費と処分費（平日受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。 (6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について ア 発生する濁水（汚濁）に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について（通知）（平成24年3月28日付け土技第1257号）」に基づき、適正に処理すること。 イ 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。 「適正に処理」とするとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。 なお、受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。 ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて（通知）（平成25年1月17日付け土技第942号）」に基づき、適正に処理すること。	(1) 工事請負代金額が3,500万円以上（建築一式工事の場合7,000万円以上）の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。 ア 現場施工に着手するまでの期間 【現場施工に着手する日が確定している場合】 請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。 【現場施工に着手する日が確定していない場合】 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。 イ 検査終了後の期間 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事完成を確認した旨、受注者に通知した日（工事検査合格通知書における日付）とする。 (2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者として入札執行日より3ヵ月以上の雇用関係が成立していなければならない。 イ 受注者は、着手前と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類（健康保険被保険者証等の写し）を提出しなければならない。	(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。 【 〇火災保険 〇建設工事保険 ・組立保険 〇請負業者賠償責任保険 】 (2) 建設労災補償済済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。 (3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。 ア 掛金収納書を契約後一ヶ月以内に発注者に提出する。 イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。 ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。	(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいくる材に限り、原則「ゆいくる材」とする。それ以外を原材料とするゆいくる材は率先して使用することとする。ただし、ゆいくる材がない離島等での工事の場合は、ゆいくる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいくる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいくる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。 また、ゆいくる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。 (2) ゆいくる材の品質管理 ア ゆいくる材の品質管理にあたっては、「改修標準仕様書」等のほかに「ゆいくる材品質管理要領」に基づいて行うこと。 イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいくる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいくる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。
②	仮設工事	⑯ 技能士（1.5.2）	⑰ 化学物質の濃度測定（1.5.9）	⑱ 完成時の提出図書（1.7.1） （1.7.2）
	① 工事用水 ② 工事用電力 ③ 環境対策について ④ 足場その他（2.2.4） 5 監督員事務所（2.3.1）	適用工事種別 技能検定作業 鉄筋工事 〇 鉄筋施工（鉄筋組立作業） ・ ガス圧接技能資格者（JIS Z 3881） コンクリート工事 〇 型枠施工 〇 コンクリート圧送施工技能士（1名以上） ブロック・ALC・パネル工事 〇 ブロック建築 ・ ALCパネル施工 防水工事 〇 防水施工 （ ・ アスファルト防水 ・ 合成ゴム系シート防水 ・ ウレタンゴム系塗膜防水 〇 シーリング防水） 石工事 ・ 石材施工（石張り） タイル工事 ・ タイル工事 木工事 〇 建築大工 屋根及びとい工事 〇 建築板金（内外装板金） ・ スレート施工 金庫工事 ・ 内装仕上げ工事（鋼製地下工事） 左官工事 〇 左官 建具工事 〇 建具製作 〇 サッシ施工 〇 ガラス施工 カーテンウォール工事 ・ カンパネル施工（PC） ・ サッシ施工 ・ ガラス施工 塗装工事 ・ 塗装（ ・ 建築塗装 ・ 木工塗装 ・ 金属塗装） 内装工事 ・ 内装仕上げ施工（ ・ プラスチック系床仕上 ・ 木質系床仕上 ・ カーペット系床仕上 ・ ボード仕上げ） ・ 畳製作 ・ 表装（ ・ 壁装作業 ・ 表具作業 ） 植栽工事 ・ 造園	(1) 測定方法の基準、測定方法、測定対象室及び測定箇所数 ・ 「官庁登録部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（国営整第4号 平成24年4月5日） ・ 「学校における室内空気汚染対策について」（15学健第11号 平成15年7月4日） 測定対象室 測定箇所数 備 考 <	

章	項	目	特記事項				章	項	目	特記事項				章	項	目	特記事項			
④ 地 業 工 事	③ 床下防湿層 ④ ボーリング調査		イ セメントの種類 【 ・普通ポルトランドセメント ・図示 】 ウ コンクリート				7 鉄	1 鋼材	記号の種類 適用箇所 備考 形状及び寸法は、図示による。 (7.2.1) (表7.2.1)				4 押出成形セメント板 (E C P)	パネルの種類 表面形状 厚さ 幅 取付け工法 (8.5.2) (8.5.3) (8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)						
			設計基準強度 種別 備考	種類 径 縁端距離 間隔 ゲージ 備考																
			防湿層の範囲は、図示による。(4.6.5) ○有 ・ 無 (牛舎 2ヶ所 堆肥舎 1ヶ所) 別紙報告書 ④ 無 (農具庫 1ヶ所)						すべり係数試験 : 【 ・実施する ・実施しない 】 試験の方法、試験片の摩擦面の処理 : 【 ・図示 ・ 】 (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.4.7)											
⑤ 鉄 筋 工 事	① 鉄筋 (5.2.1) ② 溶接金網 (5.2.2) ③ 継手及び定着 (5.3.4)		種類の記号 呼び名 (mm) 備考 図示による				骨 工 事	2 高力ボルト	径 縁端距離 間隔 ゲージ 備考 (7.2.3) (7.3.2)				⑨ 防 水 工 事	① 防水の種類	(1) 防水の種類等 (9.2.2) (9.3.2) (9.4.2) (9.5.2) (9.6.1) 防水の種類 厚さ 施工箇所 (2) 防水層の種類 (9.2.3) (9.3.3) (9.4.3) (9.5.3) (9.6.3) 防水層の種類 工法 備考 無機質浸透性塗布防水 C-U I 水槽内 (表9.2.3) ~ (表9.2.8) (表9.3.1) ~ (表9.3.3) (表9.4.1) (表9.4.2) (表9.5.1) (表9.5.2) (表9.6.1) (3) その他の材料等 ・ 押え金物 : (材質) (寸法) ・ 絶縁用シート : (材質) ・ 断熱材 : (材質) (厚さ) ・ 立上り部保護 : (材質) (工法等) ・ 脱気装置 : (種類) (設置数) ・ 仕上り塗料 : (種類) (使用量) (4) 施工 ・ 下地の処理方法等 : (X-2, Y-2; (9.5.4), C-U I ;(9.6.4)					
			(1) 継手の種類等 施工部位 継手の種類 備考 (重ね継手の長さ等) 図示による						・ 構造用アンカーボルト 種類 縁端距離 間隔 ゲージ 形状及び寸法 保持及び埋込み工法 ・ 建方用アンカーボルト 種類 縁端距離 間隔 ゲージ 形状及び寸法 保持及び埋込み工法 (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3) (表7.10.1)											
			(2) 柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合は、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。 (3) 鉄筋の定着長さ 【 ※図示による。 ・ 】						5 デッキプレート 施工部位 材質 形状 寸法 備考 デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法: 【 ・図示 ・ 】 (7.2.7) (7.7.8)											
	④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5) ⑤ 各部配筋 (5.3.7) 6 機械式継手		(1) 軽量コンクリートの場合の最小かぶり厚さ ; (2) 塩害を受けるおそれのある部分等の位置及び最小かぶり厚さ ; (3) 機械式継手及び溶接継手の場合のあきの寸法: 図示による					3 普通ボルト	施工部位 材質 形状 寸法 備考 (7.2.9) (7.10.3)				② シーリング		・ 被着体に応じたものとし、(表9.7.1) に準ずる。 シーリング材の種類 施工箇所 試験等 PU-2 2成分形 ポリウレタン系/ノンブリードタイプ 打継、読発目地、構造ｽﾏｯﾄﾞ ・ 簡易接着性試験 MS-2 2成分型変性 シリコン系/ノンブリードタイプ 外部建具廻り・水切下、屋上ドレイン廻 SR-1 1成分形 シリコン系高モジュラス形 ガラス止 (9.7.2) (9.7.3) (9.7.5) (16.14.5) (17.3.2)					
			施工箇所 配筋の方法 図示による 【 ・ (参ー.) による。 ○ 図示 】 【 ・ (参ー.) による。 ・ 図示 】 ※ その他、各部配筋方法 (参ー1.1 ~参ー7.3) による。						6 レール 施工部位 材質 形状 寸法 備考 (7.2.9) (7.10.3)											
			※ その他、各部配筋方法 (参ー1.1 ~参ー7.3) による。						7 柱底均しモルタル 材料 厚さ 種別 備考											
⑥ コ ン ク リ ー ト 工 事	① コンクリートの強度 ② コンクリートの材料 ③ コンクリートの強度試験 ④ コンクリート打放し仕上げ ⑤ コンクリートの品質管理 ⑥ 打継ぎ ⑦ 型枠 8 軽量コンクリート ⑨ 暑中コンクリート ⑩ 品質確保		気乾単位容積質量による種類 類別等 設計基準強度 (Fc) 施工部位 ○普通コンクリート ・ 軽量コンクリート ※Ⅰ類 ・ Ⅱ類 図示による 図示による ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート ※Ⅰ類 ・ Ⅱ類 ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート ※Ⅰ類 ・ Ⅱ類 (6.2.1) (6.2.2) (6.2.3) (6.10.1) (6.13.1) (6.14.1) (6.15.1)				9 仮組	仮組の実施 : 【 ・実施する ・実施しない 】 (7.3.10)				10 溶接	開先の形状 エンドタブの有・無及び適用箇所 スカラップの形状 溶接部の試験 (7.6.3) (7.6.4) (7.6.7) (7.6.11)							
			(1) セメントの種類: 【 ※普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・ 】 (2) フライアッシュセメントB種の適用箇所: 【 ・図示 ・ 】 (3) 骨材のアルカリシリカ反応性による区分: ※A ・ B (6.3.1)					11 塗料の種類 錆止め塗料の種類: 【 ・A種 ・B種 】 (7.8.3) (表18.3.1)												
			材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする。 仕上げの種類 打増し厚さ 施工部位 備考 B種 地上部 C種 基礎部 (6.2.5) (6.8.2)					12 耐火被覆の種類及び性能 (7.9.2)												
			工事に使用するコンクリートは事前に試し練りを行い、その品質等が設計図書の規定に適合していることを確認し、監督職員に報告する。 (6.6.3)				⑧ コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク ・ A L C パ ネ ル ・ E C P 工 事	1 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類及びモジュール呼び寸法 正味厚さ 各部の配筋 (8.2.2) (8.2.4) (8.2.5)				10 石工事	1 石材 (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)	(1) 天然石 施工箇所 種類 表面仕上げの種類 (2) テラゾ 施工箇所 種石の種類、大きさ 形状及び寸法 表面仕上げの種類 (1) 工法、加工等 (10.3.1) (10.3.2) (10.4.1) (10.4.2) (10.5.1) (10.5.2) 工法 厚さ 石裏面処理 裏打ち処理 備考 (2) 乾式工法的方式: 【 ・スライド方式 ・ロッキング方式 】 (10.2.2) (3) あと施工アンカーの材質及び寸法: (4) 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質: (10.2.3)					
打継ぎ目地の寸法は、図示による。(6.6.3)				13 その他 (7.11.2) (7.12.4)																
(1) 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ 【 ・ () mm 】 (2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法は、図示による。(6.8.2) (3) M C R工法の適用: ・有り 【 使用箇所: ・図示 ・ 】 (6.8.3)				② コンクリートブロック帳壁及び塀 ブロックの種類及びモジュール呼び寸法 正味厚さ 各部の配筋 間仕切り壁 空洞ブロック 16 400×200 150 図示による 塀の場合の化粧ブロックの有無: 【 ・有り ・無し 】 (8.3.2) (8.3.3)																
			施工部位 種類 気乾単位容積質量 ・ 1種 ・ 2種 ・ 1種 ・ 2種 水又は土に接する軽量コンクリートの使用: ・有り 【 使用箇所: ・図示 ・ 】				3 A L Cパネル	(1) パネルの種類等 (8.4.2) ~ (8.4.5) (表8.4.2) (表8.4.3) パネルの種類 単位荷重 厚さ 長さ 構法 (2) 床パネルの耐火性能: 【 ・ 1時間 ・ 2時間 】 (8.4.2) (3) 外壁パネル構法の場合の伸縮調整目地の目地幅: 【 ・図示 ・ () mm 】 (4) 耐火目地材の適用: 【 ・適用する ・適用しない 】 (8.4.3)												
(注) 適用する場合は、気象庁HPより日平均気温の平年値を確認し、【 】を記載すること。																				
レディーミクストコンクリートの品質確保については、「レディーミクストコンクリートの品質確保について」(平成15年11月10日付け国営建第95号)及び「レディーミクストコンクリートの品質確保について」の運用について」(平成15年11月10日付け国営技第71号)を適用する。																				
黒島 亨太																				
工事名称		竹富美ら島地区牛舎等建築工事				工事年度		令和 2 年度												
工事場所		沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田 194番1・199番1				図面名称		避難倉: 特記仕様書-3												
発注機関		公益財団法人 沖縄県農業振興公社				縮 尺		—												
構 要		管理建築士 設 計 製 図				図面番号		A — 03												
検 印		資格者氏名 管理建築士 小濱 定和 登録番号 第 172077 号 登録番号 第 190-1411 号 所 在 地 沖縄県那覇市字上間210番地4																		

章 項 目		特 記 事 項				章 項 目		特 記 事 項				章 項 目		特 記 事 項																																																																																																																																					
10 石 工 事	3 床及び階段の石張り	<table><tr><td>厚さ</td><td>石表面処理</td><td>目地幅</td><td>備考</td></tr><tr><td colspan="4">(10.6.2) (10.6.3)</td></tr></table>				厚さ	石表面処理	目地幅	備考	(10.6.2) (10.6.3)				2 土壌処理	土壌処理（防蟻） (1) 施工箇所：「防除施工標準仕様書」（社団法人日本しろあり対策協会発行） Ⅰ 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 4 処理の箇所 に準することとし、建築物の外周処理を含む。 (2) 処理薬剤：社団法人日本しろあり対策協会の認定品とする。 (3) 処理方法：「防除施工標準仕様書」Ⅰ 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 3 処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。				(14.8.3) (表14.2.1)				イ 取付け金物等は、全てステンレス（SUS 304）とする。 (2) タラップ ア 表面処理の種別をＢ－１種又はＢ－２種としたときの複合皮膜の種類 【 ・Ａ１ ・Ａ２ 】（JIS H 8602） イ 取付け金物等は、全てステンレス（SUS 304）とする。 ウ 足掛かり部は、スリッ止め加工とする。																																																																																																																												
	厚さ	石表面処理	目地幅	備考																																																																																																																																															
(10.6.2) (10.6.3)																																																																																																																																																			
4 特殊部位の石張り	<table><tr><td>施工箇所</td><td>工法</td><td>石材の厚さ</td><td>石表面処理</td><td>裏打ち処理</td><td>備考</td></tr><tr><td colspan="6">(10.7.1) (10.7.2) (10.7.3)</td></tr></table>				施工箇所	工法	石材の厚さ	石表面処理	裏打ち処理	備考	(10.7.1) (10.7.2) (10.7.3)						③ 防蟻・防蟻 防虫処理	木材処理（防蟻・防虫） (1) 施工箇所：合板、集成材等を除く全ての木材 (2) 処理方法：工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。 (3) 性能区分：性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。 ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K 1＋保存処理K 3とする。 イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K 3とする。				⑮ 左 官 工 事				① モルタル塗り (1) 既製目地材の適用及び形状： (15.2.2) (2) 床の目地の設置及び工法： (15.2.5) (3) 外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着試験： 【 ・実施する ・実施しない 】 セルフレベリング材の種類：【 ・せっこう系 ・セメント系 】 (15.4.2) (表15.4.1)																																																																																																																									
施工箇所	工法	石材の厚さ	石表面処理	裏打ち処理	備考																																																																																																																																														
(10.7.1) (10.7.2) (10.7.3)																																																																																																																																																			
11 タ イ ル 工 事	1 タイル (11.2.2) (11.3.2) (11.4.2)	(1) タイルの種類 <table><tr><td>施工箇所</td><td>形状・寸法</td><td>うわぐすり</td><td>吸水率</td><td>役物</td><td>色</td><td>耐滑り性</td></tr><tr><td colspan="7"></td></tr><tr><td colspan="7"></td></tr><tr><td colspan="7"></td></tr><tr><td colspan="7"></td></tr></table> (2) タイルの試験張り：【 ・行う ・行わない 】 (3) タイルの見本焼き：【 ・行う ・行わない 】				施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	耐滑り性																													④ 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	(1) 社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、期間は、処理施工後5年とする。				2 セルフレベリング材塗り (15.5.2)				種類 呼び名 仕上げの形状等 <table><tr><td colspan="3"></td></tr><tr><td colspan="3"></td></tr><tr><td colspan="3"></td></tr></table> (表15.5.1)																																																																																																	
	施工箇所	形状・寸法	うわぐすり	吸水率	役物	色	耐滑り性																																																																																																																																												
2 あと張り工法	壁タイル張りの工法等 (11.2.7) (11.3.7) <table><tr><td>タイルの種類</td><td>大きさ</td><td>工法</td><td>張付け材料の種類、塗厚等</td></tr><tr><td colspan="4">モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理： 【 ・MCR工法 ・目荒らし工法 】 (表11.2.3) (表11.3.2)</td></tr></table>				タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等	モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理： 【 ・MCR工法 ・目荒らし工法 】 (表11.2.3) (表11.3.2)				⑬ 屋 根 及 び と い 工 事	① 塩ビ畜産波板葺 <table><tr><td>施工箇所</td><td>屋根葺形式</td><td>厚さ</td><td>材質</td><td>備考</td></tr><tr><td>屋根</td><td>波板</td><td>1.3mm</td><td>塩ビ</td><td></td></tr><tr><td colspan="5">下葺材料： 【 ・アスファルト-フリング' 940 ・改質アスファルト-フリング' 】 (13.2.2)</td></tr><tr><td>施工箇所</td><td>形式の区分</td><td>山高・山びつち</td><td>耐力による区分</td><td>材料による区分</td><td>厚さ</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table> (1) 軒先面戸板の適用：【 ・有り ・なし 】 (2) 断熱材張り 【 ・実施する ・実施しない 】 (13.3.2)				施工箇所	屋根葺形式	厚さ	材質	備考	屋根	波板	1.3mm	塩ビ		下葺材料： 【 ・アスファルト-フリング' 940 ・改質アスファルト-フリング' 】 (13.2.2)					施工箇所	形式の区分	山高・山びつち	耐力による区分	材料による区分	厚さ							3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)				工程 種別 塗料その他 <table><tr><td colspan="3"></td></tr><tr><td colspan="3"></td></tr><tr><td colspan="3"></td></tr></table> (表15.6.1)																																																																																																		
タイルの種類	大きさ	工法	張付け材料の種類、塗厚等																																																																																																																																																
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理： 【 ・MCR工法 ・目荒らし工法 】 (表11.2.3) (表11.3.2)																																																																																																																																																			
施工箇所	屋根葺形式	厚さ	材質	備考																																																																																																																																															
屋根	波板	1.3mm	塩ビ																																																																																																																																																
下葺材料： 【 ・アスファルト-フリング' 940 ・改質アスファルト-フリング' 】 (13.2.2)																																																																																																																																																			
施工箇所	形式の区分	山高・山びつち	耐力による区分	材料による区分	厚さ																																																																																																																																														
3 型枠先付け工法	<table><tr><td>種類</td><td>適用タイル</td><td>タイル型枠先付け面のせき板</td></tr><tr><td colspan="3">(11.4.3) (表11.4.1)</td></tr></table>				種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板	(11.4.3) (表11.4.1)			⑭ 金 属 工 事	2 折板 <table><tr><td>施工箇所</td><td>形式の区分</td><td>山高・山びつち</td><td>耐力による区分</td><td>材料による区分</td><td>厚さ</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table> (1) 軒先面戸板の適用：【 ・有り ・なし 】 (2) 断熱材張り 【 ・実施する ・実施しない 】 (13.3.2)				施工箇所	形式の区分	山高・山びつち	耐力による区分	材料による区分	厚さ							5 ロックウール吹付け (15.7.3)				仕上げ厚さ： (15.7.3)																																																																																																																			
種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板																																																																																																																																																	
(11.4.3) (表11.4.1)																																																																																																																																																			
施工箇所	形式の区分	山高・山びつち	耐力による区分	材料による区分	厚さ																																																																																																																																														
⑫ 木 工 事	① 木材 (12.2.1)	(1) 見え掛り面の表面仕上げの程度 (12.1.4) <table><tr><td>施工箇所</td><td>種 類</td></tr><tr><td colspan="2">・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種</td></tr><tr><td colspan="2">・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種</td></tr></table> (2) 木材（下地材）の含水率： ※Ａ種（15%以下）・Ｂ種 木材（造作材）の含水率： ※Ａ種（15%以下）・Ｂ種 (12.2.1) (3) 製 材 【 ①「製材の日本農林規格」による ・「製材の日本農林規格」以外 】 【 ・下地用針葉樹製材 ・造作用針葉樹製材 ・広葉樹製材 ・ 】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>寸法</td><td>等級又は品質</td><td>含水率</td><td>防虫処理</td></tr><tr><td>下地材</td><td>杉</td><td>2級</td><td></td><td>加圧注入K 3</td><td></td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table> ・代用樹種の使用の禁止 (表12.2.2) (表12.2.3) (4) 造作用集成材 【 ・「集成材の日本農林規格」による ・「集成材の日本農林規格」以外 】 【 ・造作用集成材 ・化粧ばり造作用集成材 ・化粧ばり構造用集成材 ・ 】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>寸法</td><td>等級又は品質</td><td>含水率</td><td>化粧薄板の厚さ</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table> (5) 造作用単板積層材 【 ・「単板積層材の日本農林規格」による ・「単板積層材の日本農林規格」以外による 】 <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表面の品質</td><td>含水率</td><td>防虫処理</td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr></table> (6) 合板等 【 ・普通合板 ・構造用合板 】 ※全てF☆☆☆☆とする <table><tr><td>施工箇所</td><td>樹種</td><td>厚さ品質、等級等</td><td>接合の程度</td><td>防虫・強度等</td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr></table> (7) パーティクルボード <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>表表面の状態</td><td>曲げ強さ</td><td>接着剤</td><td>難燃性</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table> (8) 構造用パネル <table><tr><td>施工箇所</td><td>厚さ</td><td>等級</td></tr><tr><td colspan="3">(12.2.1)</td></tr></table>				施工箇所	種 類	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種		・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種		施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理	下地材	杉	2級		加圧注入K 3														施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ													施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理											施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接合の程度	防虫・強度等																										施工箇所	厚さ	表表面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性													施工箇所	厚さ	等級	(12.2.1)			① 施工アンカー (14.1.3) ② アルミニウム 及びアルミニウム 合金の表面処理 (14.2.2) (14.7.2) (14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1) ③ 鉄鋼の亜鉛め つき (14.2.3) (表14.2.2) 4 軽量鉄骨天井 下地 (14.4.3) 5 金属成形板張り 6 アルミニウム 製笠木 (14.7.2) (14.7.3) (表14.7.1) 7 手すり及びタ ラップ (14.8.2)	あと施工アンカーの引抜試験：【 ・実施する ・実施しない 】 (14.1.3) 表面処理の種別をＢ－１種又はＢ－２種としたときの複合皮膜の種類 【 ①Ａ１ ・Ａ２ 】（JIS H 8602） (14.2.2) (14.7.2) (14.8.2) (14.8.3) (表14.2.1) <table><tr><td>施工箇所</td><td>種別</td><td>表面処理方法</td></tr><tr><td>扉、欄</td><td>C種</td><td>溶融亜鉛めつき</td></tr><tr><td colspan="3">(14.2.3) (表14.2.2)</td></tr></table> 屋外の軽量鉄骨天井下地 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 野縁の間隔 備考 <table><tr><td colspan="3">・補強方法等（ 図示による ） (14.4.4)</td></tr></table>				施工箇所	種別	表面処理方法	扉、欄	C種	溶融亜鉛めつき	(14.2.3) (表14.2.2)			・補強方法等（ 図示による ） (14.4.4)			⑥ 建 具 工 事				1 防火戸等 (16.1.3) (16.1.6) 2 見本の製作等 (16.1.4) ③ アルミニウム 製建具 (16.2.2) (16.2.4) (16.2.5) (表14.2.1) (表16.2.1)			
	施工箇所	種 類																																																																																																																																																	
	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種																																																																																																																																																		
	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種																																																																																																																																																		
	施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																													
下地材	杉	2級		加圧注入K 3																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	寸法	等級又は品質	含水率	化粧薄板の厚さ																																																																																																																																														
施工箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																															
施工箇所	樹種	厚さ品質、等級等	接合の程度	防虫・強度等																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ	表表面の状態	曲げ強さ	接着剤	難燃性																																																																																																																																														
施工箇所	厚さ	等級																																																																																																																																																	
(12.2.1)																																																																																																																																																			
施工箇所	種別	表面処理方法																																																																																																																																																	
扉、欄	C種	溶融亜鉛めつき																																																																																																																																																	
(14.2.3) (表14.2.2)																																																																																																																																																			
・補強方法等（ 図示による ） (14.4.4)																																																																																																																																																			
								(1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。 (16.1.3) (2) 防犯建物部品の適用は、図示による。 (16.1.6)				(1) 建具の見本の製作：【 ・行う ・行わない 】 (2) 特殊な建具の仮組：【 ・実施する ・実施しない 】																																																																																																																																							
								(1) 建具の性能等 <table><tr><td>種別</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>枠見込み寸法</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>その他</td><td>S－7 (3600)</td><td>A－4</td><td>W－5 (500pa)</td><td>70mm</td><td>飼料・管理室</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>施工箇所</td><td>等級</td><td>備考</td></tr><tr><td>・防音ドアセット</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・断熱ドアセット</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐震ドアセット</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 外部に面する建具の表面処理の種別及び複合皮膜の種類 種別：Ｂ－１ 複合皮膜の種類：【 ①Ａ１ ・Ａ２ 】（JIS H 8602） (4) 結露水の処理方法： (5) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。				種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所	その他	S－7 (3600)	A－4	W－5 (500pa)	70mm	飼料・管理室							ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考	・防音ドアセット				・断熱ドアセット				・耐震ドアセット				(1) 建具の性能等 <table><tr><td>種別</td><td>耐風圧性</td><td>気密性</td><td>水密性</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td colspan="5"></td></tr></table> (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 <table><tr><td>ドアセット等の種類</td><td>施工箇所</td><td>種別</td><td>等級</td><td>等級</td><td>備考</td></tr><tr><td>・防音ドアセット</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・断熱ドアセット</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 表面色： (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス： ※複層ガラス ・単板ガラス ・三重ガラス ・ (16.3.3)				種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所						ドアセット等の種類	施工箇所	種別	等級	等級	備考	・防音ドアセット						・断熱ドアセット																																																																											
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み寸法	施工箇所																																																																																																																																														
その他	S－7 (3600)	A－4	W－5 (500pa)	70mm	飼料・管理室																																																																																																																																														
ドアセット等の種類	施工箇所	等級	備考																																																																																																																																																
・防音ドアセット																																																																																																																																																			
・断熱ドアセット																																																																																																																																																			
・耐震ドアセット																																																																																																																																																			
種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所																																																																																																																																															
ドアセット等の種類	施工箇所	種別	等級	等級	備考																																																																																																																																														
・防音ドアセット																																																																																																																																																			
・断熱ドアセット																																																																																																																																																			
								4 樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.3) (16.3.4) (16.3.5) (表16.3.1) (表16.3.2) (表16.3.3)																																																																																																																																											
												黒島 亨太																																																																																																																																							
												工事名称 竹富美ら島地区牛舎等建築物工事		工事年度 令和 2 年度																																																																																																																																					
												工事場所 沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田 194番1・199番1		図面名称 避難倉：特記仕様書-4																																																																																																																																					
												発注機関 公益財団法人 沖縄県農業振興公社		縮 尺 —																																																																																																																																					
												図面番号 A — 04		名 称 株式会社 タップ																																																																																																																																					
												摘 要 管理建築士 設 計 製 図		設 計 資格者氏名 管理建築士 小濱 定和																																																																																																																																					
												検 印		登録番号 1級建築士 第 17207 号																																																																																																																																					
														登録番号 第 190-1411 号																																																																																																																																					
														所 在 地 沖縄県那覇市字上間210番地4																																																																																																																																					

章

項

目

10

くつふきマット

(1) くつふきマットの材種：【 ・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 】

(2) 受け枠の材種：【 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 】

名称	寸法	適用内容	規格・品質	備考

11

流し台ユニット

名称	寸法	規格・品質	備考

12

その他ユニット

名称	寸法	規格・品質	備考

21

排水工事

1

排水管
(21.2.1)

材種	管の種類	呼び径	備考

2

側塊、排水枡等
(21.2.2)
(21.2.3)

(1) 側塊

形状	寸法	備考
図示		

(2) 排水枡、ふた

種類	適用荷重	備考
図示		

(3) グレーチング

材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	備考

(4) 地業の材料：【 再生クラッシュアラン 】

3

基床

基床の厚さ及び種類：(21.2.2)

4

街きよ、縁石及び側溝
(21.3.1)

コンクリート縁石及び側溝

名称	規格名称	形状	寸法等	備考

22

舗装工事

1

路床

(1) 路床の種類等(22.2.2) (22.2.3) (22.2.5) (表22.2.2)

層の種類	厚さ	盛土の材料	路床安定処理	試験

(2) ジオテキスタイルの適用及び品質：【 】

2

路盤

(1) 車道部の厚さ：【 】(22.3.2)

(2) 締固め試験：【 】(22.3.5)

3

アスファルト舗装
(22.4.2)
(22.4.4)
(22.4.5)

(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】

(2) 加熱アスファルト混合物等の種類：【 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・再粒度アスファルト混合物(13) 】

(3) シールコートの適用：【 ・有り ・無し 】

4

コンクリート舗装

(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】(22.5.2)

5

カラー舗装
(22.6.2)

(1) 構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】

(2) 種類：【 ・加熱系（ ） ・常温系（ ） 】

(3) 添加する着色骨材又は自然石【 ・図示による（A- ） ・ 】

(4) その他【 ・ 】

23

植栽及び屋上緑化工事

6

透水性アスファルト舗装

構成及び厚さ：【 ・図示による（A- ） ・ 】(22.7.2)

7

ブロック系舗装
(22.8.1)

(1) ブロック系舗装の適用：【 ・コンクリート平板舗装 ・インターロッキングブロック舗装 ・舗石舗装 】

(2) 種類及び寸法等：【 ・図示による（A- ） ・ 】

(3) ジオテキスタイルの適用及び品質：【 】

1

植栽地の確認

(1) 植栽地の土壌試験：【 】(23.1.3)

(2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。(22.2.2)

(3) 土壌改良材：【 】

(4) 植込み用土：【 】

2

植樹
(23.3.2) ～
(23.3.4)
(23.3.6)

(1) 種類等

樹木の種類	樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	支柱の形	備考

(2) 新植樹木の枯補償の期間：【 ※1年 ・（ ）年 】

(3) 移植樹木の枯損処理を行う期間：【 ※1年 ・（ ）年 】

3

芝張り等
(23.4.2)

(1) 芝の種類：

(2) 種子の種類及び量：

(3) 地被類

樹種	芽立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数

4

屋上緑化

土壌層の厚さ	排水層の厚さ	樹木の樹種、寸法、数量	支柱の形式	かん水装置

※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。
※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。
(23.5.2) (23.5.3) (23.5.4)

24

その他工事

1

表示板

表示版寸法：A4サイズ(アクリル板 厚5)

表示版は黒、文字は堀込で白とする。

※記入内容は係員と協議による。

○

施設年度：令和○年度
事業名：○○○○○○○総合整備事業
地区名：○○○○○○○○○地区
発注者：公益財団法人 沖縄県農業振興公社
〔沖縄県農林水産部畜産課〕
施工者：○○○○ ○○○○
施設：避難舎（牛舎）
竣工：令和○○年○○月○○日

○

○

施設年度：令和○年度
事業名：○○○○○○○総合整備事業
地区名：○○○○○○○○○地区
発注者：公益財団法人 沖縄県農業振興公社
〔沖縄県農林水産部畜産課〕
施工者：○○○○ ○○○○
施設：堆肥舎
竣工：令和○○年○○月○○日

○

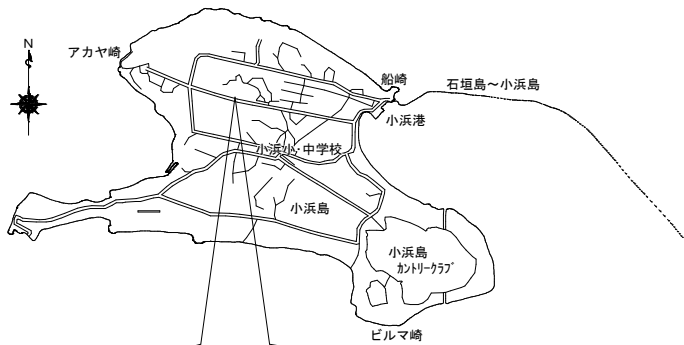
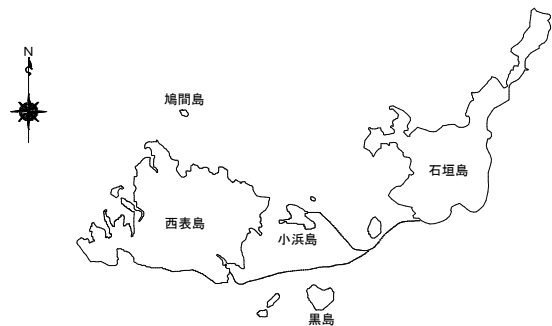
○

施設年度：令和○年度
事業名：○○○○○○○総合整備事業
地区名：○○○○○○○○○地区
発注者：公益財団法人 沖縄県農業振興公社
〔沖縄県農林水産部畜産課〕
施工者：○○○○ ○○○○
施設：農具庫
竣工：令和○○年○○月○○日

○

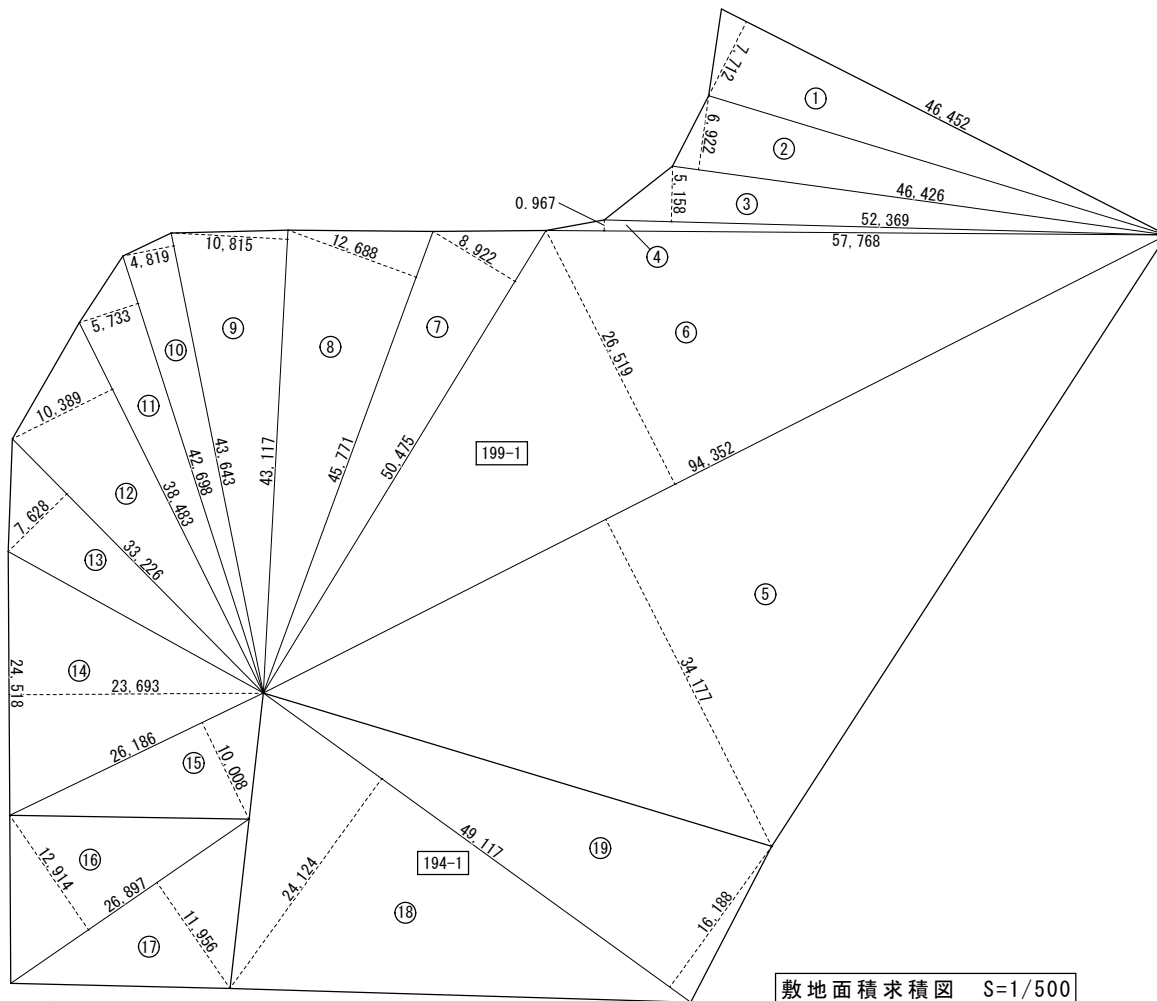
黒島 亨太

工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事	工事年度	令和 2 年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田 194番1・199番1	図面名称	避難舎：特記仕様書-6
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	—
摘 要	管理建築士 設 計 製 図	図面番号	A — 06
		名 称	株式会社 タップ
検 印		資格者氏名	管理建築士 小濱 定和
		登録番号	1級建築士 第 172077 号 登録番号 第 190-1411 号
		所 在 地	沖縄県那覇市字上間210番地4



申請地
沖縄県八重山郡竹富町字小浜島194番1・199番1

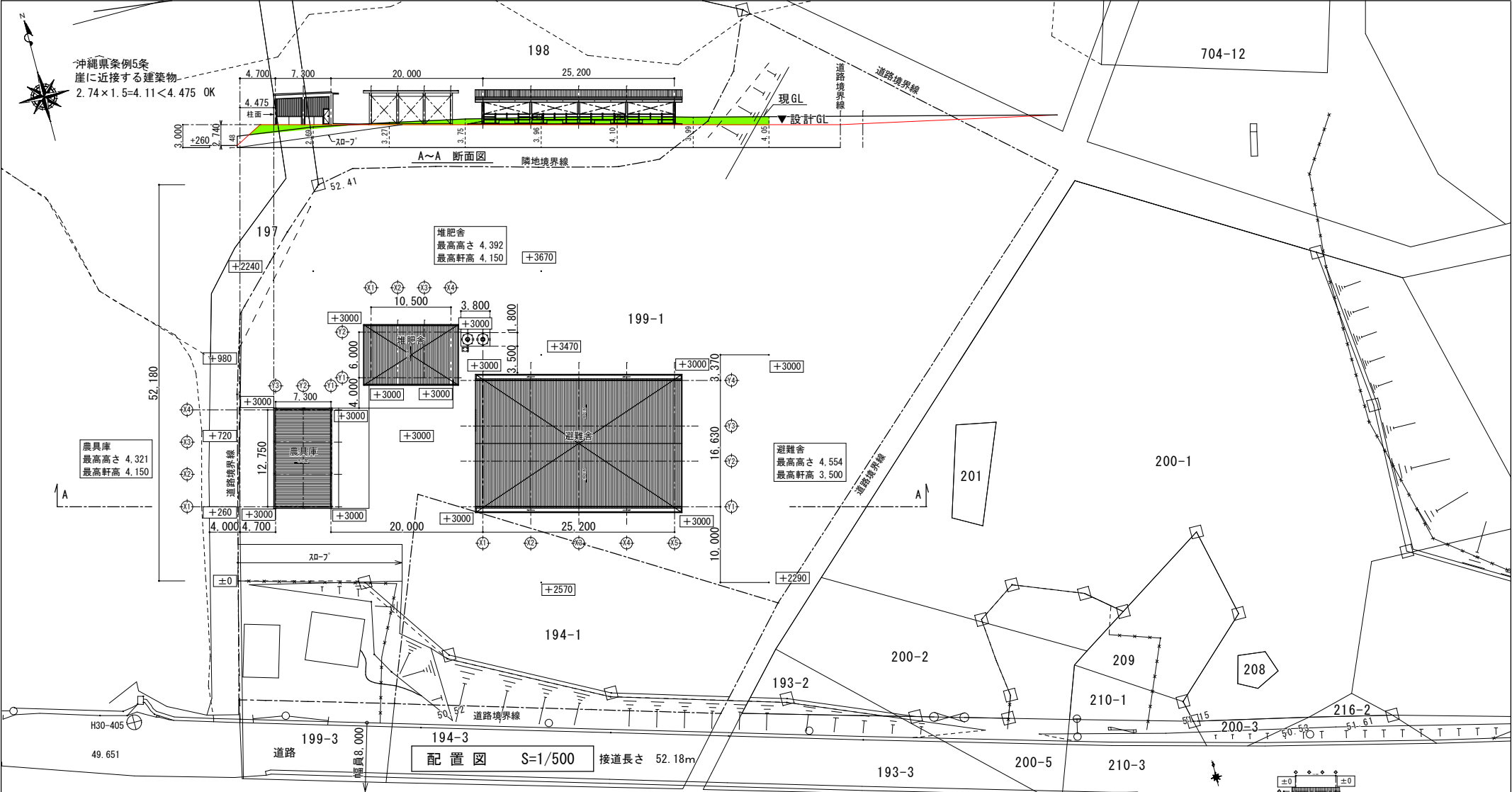
案内図 NO. SCALE



敷地面積求積表

地番	No.	計 算 式	計	面 積	地番	No.	計 算 式	計	面 積	
199-1	1	46.452 × 7.712 × 0.5	179.1189		199-1	16	26.897 × 12.914 × 0.5	173.6739		
	2	46.426 × 6.922 × 0.5	160.6803			17	26.897 × 11.956 × 0.5	160.7902		
	3	52.369 × 5.158 × 0.5	135.0596			小 計 2		334.4641		
	4	57.768 × 0.967 × 0.5	27.9308		合 計				5,425.0058	5,425.00 m ²
	5	94.352 × 34.177 × 0.5	1,612.3341		194-1	18	49.117 × 24.124 × 0.5	592.4492		
	6	94.352 × 26.519 × 0.5	1,251.0603			19	49.117 × 16.188 × 0.5	397.5529		
	7	50.475 × 8.922 × 0.5	225.1689		合 計				990.0021	990.00 m ²
	8	45.771 × 12.688 × 0.5	290.3712		199-1 + 194-1				6,415.00 m ²	
	9	43.117 × 10.815 × 0.5	233.1551		黒島					
	10	43.643 × 4.819 × 0.5	105.1578							
	11	42.698 × 5.733 × 0.5	122.3938							
	12	38.483 × 10.389 × 0.5	199.8999							
	13	33.226 × 7.628 × 0.5	126.7239							
	14	24.518 × 23.693 × 0.5	290.4524							
	15	26.186 × 10.008 × 0.5	131.0347							
小 計 1			5,090.5417							

工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事	工事年度	令和 2 年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田 194番1・199番1	図面名称	避難舎：案内図・敷地求積図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	1/500
		図面番号	A — 07
摘 要	管理建築士 設 計 製 図	名 称	株式会社 タップ
検 印		設計者	資格者氏名 管理建築士 小浜 定和
		登録番号	1級建築士 第 172077 号
		所在地	沖縄県那覇市宇上間210番地4



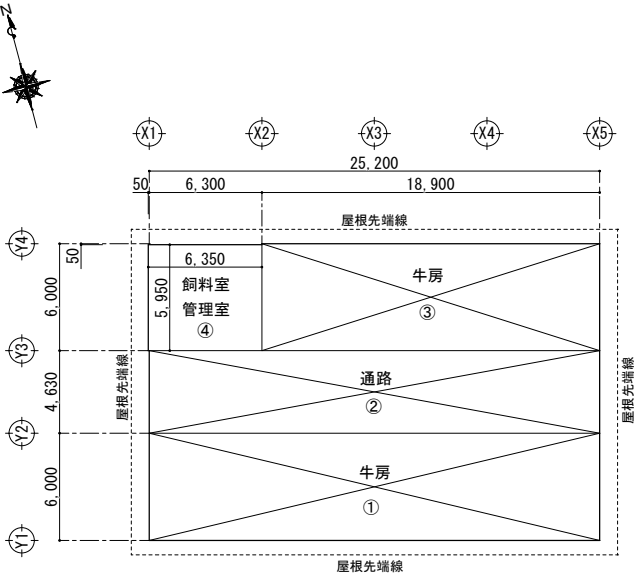
工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事					
敷地概要	地名地番	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田194番1・199番1	建築概要	建物用途		農具庫
	敷地面積	6,415㎡		工事種別		新築工事
	都市計画区域	都市計画区域外		構造		鉄筋コンクリート造
	用途地域	なし		階数		平屋建て
	防火地域	なし		地盤面		設計GL±0
	指定建蔽率	なし		最高高さ		4.300m
	指定容積率	なし		軒の高さ		4.150m, 3.850m
	高さ制限	なし				
	日影規制	なし				
	道路	前面道路幅員 4.00m				

平均地盤面: ±0

黒島 亨太

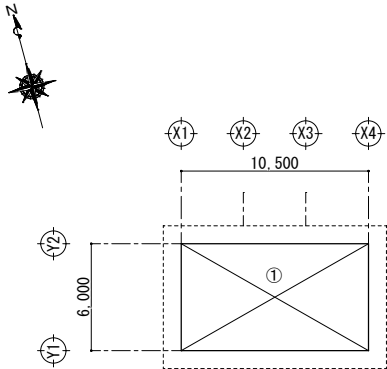
工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事	工事年度	令和 2 年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田194番1・199番1	図面名称	避難舎: 配置図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	1/500
		図面番号	A - 08
摘 要	管理建築士 設 計 製 図	名 称	株式会社 タップ
検 印		資格者氏名	管理建築士 小濱 定和
		登録番号	1級建築士 第 172077 号
		登録番号	登録番号 第 190-1411 号
		所 在 地	沖縄県那覇市字上間210番地4

内 外 部 仕 上 表					
部 位	仕 上		備 考	部 位	仕 上
柱・梁	コンクリート打放し補修			屋 根	屋根葺材：厚1.3mm塩ビ畜産波板（スレート小波） 山高18mmピッチ63mm JIS表示許可製品、国土交通大臣認定 光線透過率5%以下 軒 樋：Φ100vp管 母屋材：杉60×120@500 母屋取付用ステンレスアンカーは、M12×230とする。 屋根材取付用ステンレススクリービスのピッチは、軒、棟周辺部1mまでは @500×63(全山)とし、一般部は@500×126(1山飛ばし)とする。 屋根材の重ね部分は、シーリング処理を行う。
犬走り	コンクリート直均し仕上		M12ステンレスアイボルト埋込		
スロープ	コンクリート直均し仕上(先端部分20mm面取)				
通 路	床：コンクリート直均し仕上(目地切)				
牛 房	床：コンクリート直均し仕上(60° 目地切)			特記事項：	飼料・管理室：X2通りY3～Y4間 母屋-梁間隙間幕板 フレキシブルボード厚6mm張り
飼料・管理室	床：コンクリート直均し仕上 (目地切)	壁：厚150mmコンクリート打放し補修(外部) 腰壁：厚150mmコンクリート打放しの上/引き(内部) 壁(まぐさ部)：厚150mmコンクリート打放し補修(内外共) 壁：厚150mm空洞ブロック 厚20mmモルタル金鍍仕上(内面) 厚25mmモルタル金鍍仕上(外面)			



避難舎床面積求積図 S=1/300

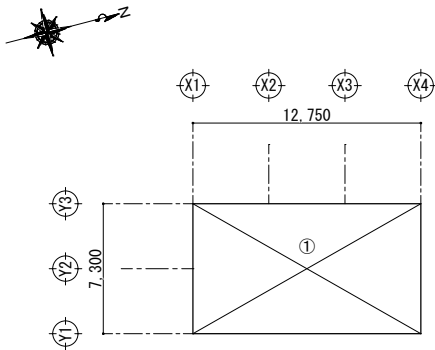
避難舎 床面積・建築面積算定表			
符号	室 名	計 算 式	床面積
①	牛房	25.20 × 6.00	151.20
②	通路	25.20 × 4.63	116.67
③	牛房	18.90 × 6.00	113.40
④	飼料室・管理室	6.35 × 5.95	37.78
小計			419.05
建築面積			419.05 m ²
床面積			419.05 m ²



堆肥舎床面積求積図 S=1/300

堆肥舎 床面積・建築面積算定表			
符号	室 名	計 算 式	床面積
①	堆肥舎	10.50 × 6.00	63.00
建築面積			63.00 m ²
床面積			63.00 m ²

棟別 床面積・建築面積算定表		
室 名	建築面積	床面積
避難舎	419.05 m ²	419.05 m ²
堆肥舎	63.00 m ²	63.00 m ²
農具庫	93.07 m ²	93.07 m ²
合 計	575.12 m ²	575.12 m ²

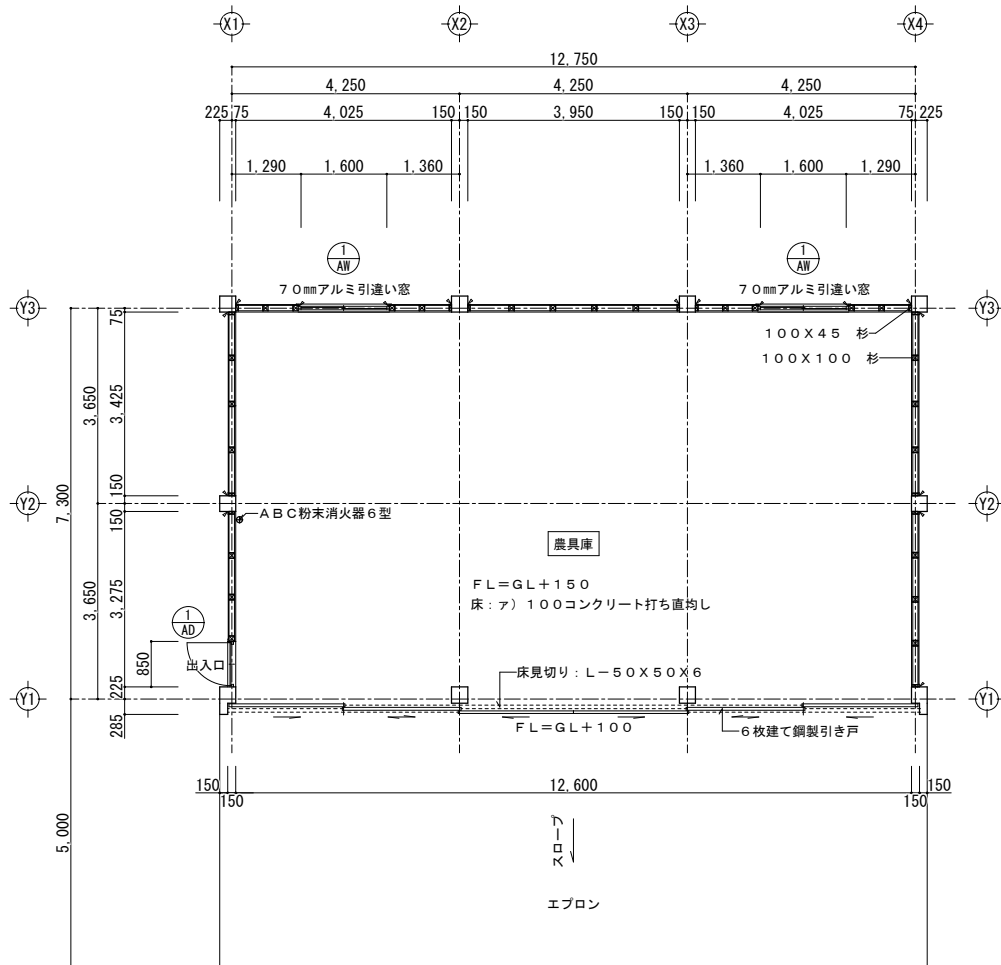


農具庫床面積求積図 S=1/300

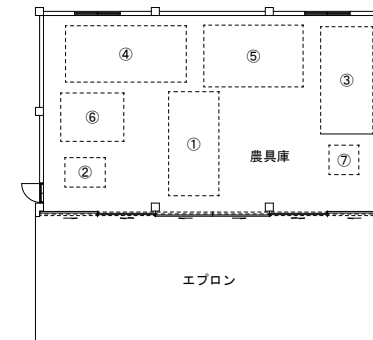
農具庫 床面積・建築面積算定表			
符号	室 名	計 算 式	床面積
①	農具庫	12.75 × 7.30	93.07
建築面積			93.07 m ²
床面積			93.07 m ²

黒島 亨太

工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築物工事	工事年度	令和 2 年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田 194番1・199番1	図面名称	避難舎：仕上表・求積図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	1/300
摘 要	管理建築士 設 計 製 図	図面番号	A — 09
検 印		名 称	株式会社 タップ
		資格者氏名	管理建築士 小濱 定和
		登録番号	1級建築士 第 172077 号 登録番号 第 190-1411 号
		所 在 地	沖縄県那覇市宇上間210番地4



平面図 S=1/100



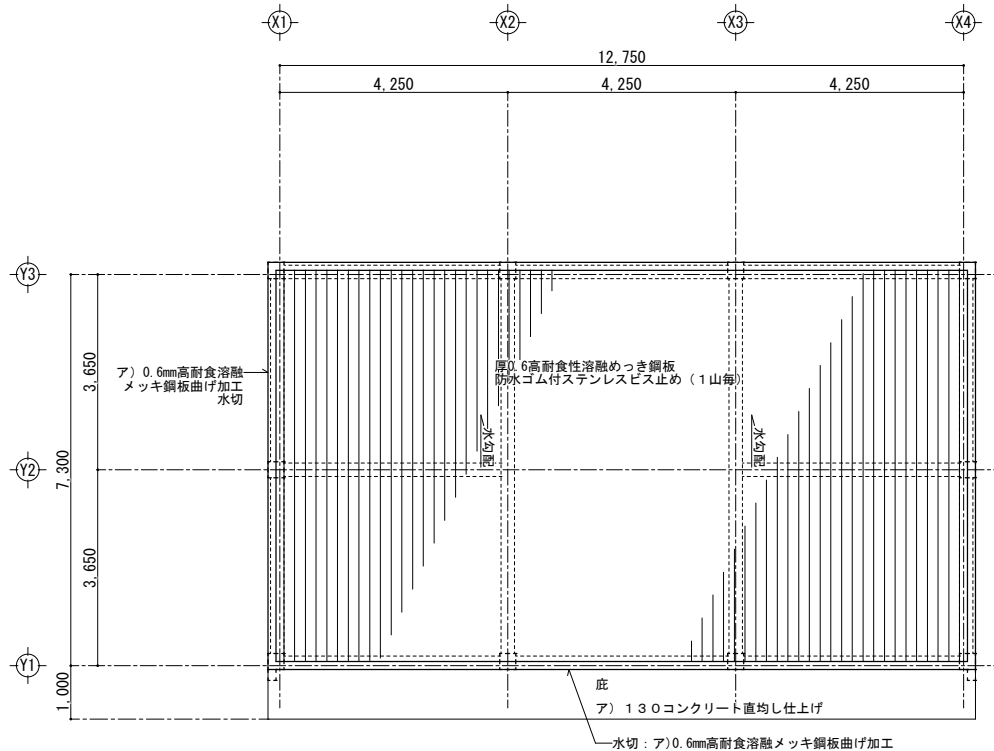
農機具配置計画図 S=1/200

記号	農機具名	長さ	幅
①	トラクター	3870	1870
②	フロントローダー	1500	1100
③	モコンディンシャー	1950	4000
④	リッターレキ	2100	4500
⑤	ローバレー	3700	2300
⑥	ラビッドマシン	2350	1800
⑦	ブロードキャスター	1100	1100

外部、内部仕上表		
仕 上		※ 備 考
床	ア) 100mm コンクリート打ち直均し	消 火 器 : 1 本 規格 : ABC粉末消火器 6 型
壁	内外壁下壁 : ア) 150mm コンクリート壁素地仕上 外部壁 : 厚0.6高耐食性溶融めっき鋼板 (角波)	ステンレスビス止め
屋根	厚0.6高耐食性溶融めっき鋼板	ステンレスビス止め
柱、梁	コンクリート打放し仕上げ	
17' 0"	ア) 100mm コンクリート打ち直均し	

黒島 亨太

工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事	工事年度	令和 2 年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田 194番1・199番1	図面名称	農具庫 : 平面図・配置計画図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	1/100・1/200
描 要	管理建築士 設 計 製 図	図面番号	A-10
検 印		設 計 者	名 称 株式会社 タップ
			資格者氏名 管理建築士 小濱 定和
			登録番号 1級建築士 第 172077 号 登録番号 第 1991411 号
			所 在 地 沖縄県那覇市字上間210番地4



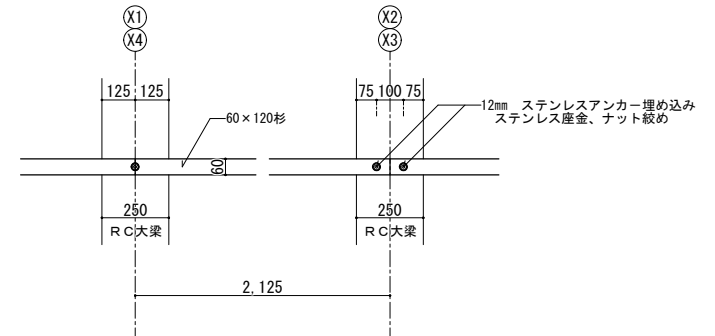
屋根伏図 S=1/100

特記事項:

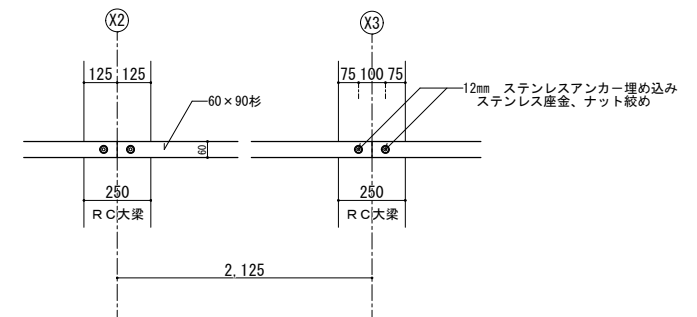
母屋取付用ステンレスアンカーは、M12×225とする。

屋根材取付用ステンレスクリュービスのピッチは、軒、棟周辺部1mまでは@500×63(全山)とし、一般部は@500×126(1山とばし)とする。

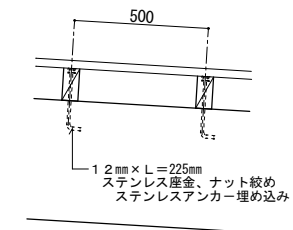
屋根材の重ね部分は、シーリング処理を行う。



母屋(両妻)取付詳細図 S=1/20



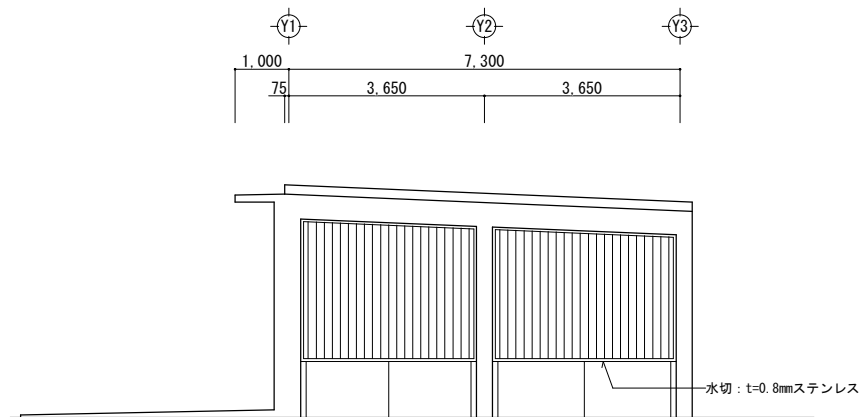
母屋(標準)取付詳細図 S=1/20



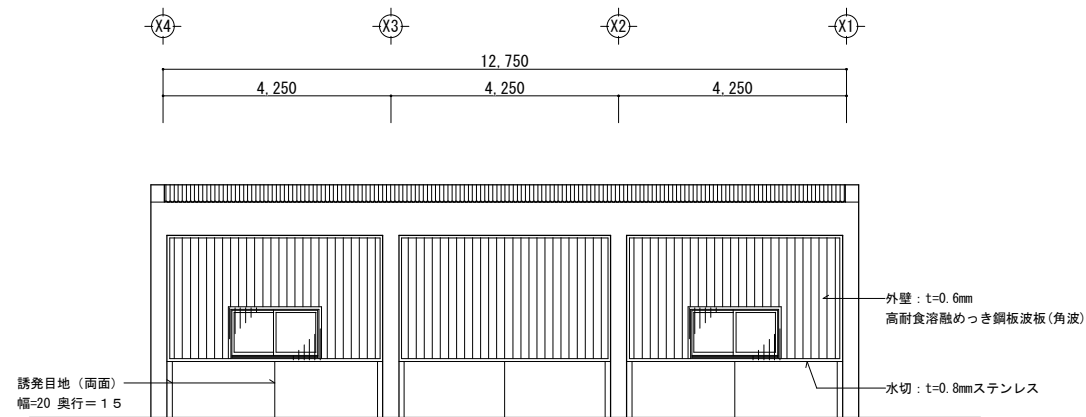
母屋取付詳細図 S=1/20

黒島 亨太

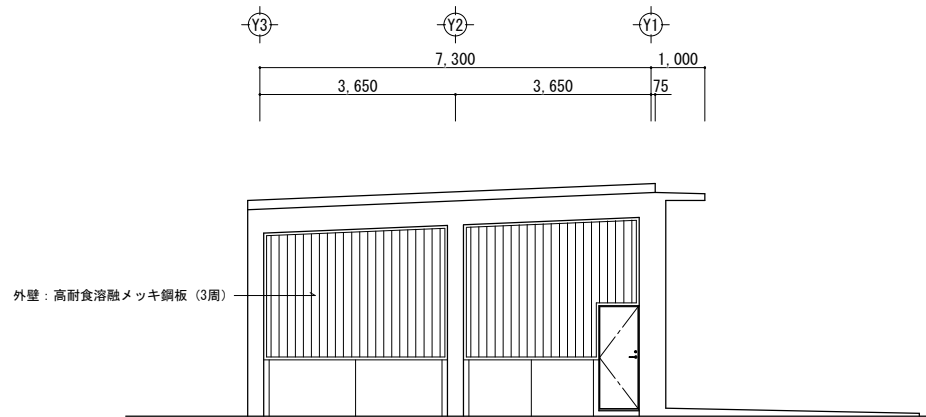
工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事	工事年度	令和2年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町小浜山田194番1・199番	図面名称	農具庫：屋根伏図・詳細図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮尺	1/20・1/100
摘要	管理建築士 設計 製図	図面番号	A-11
検印		名称	株式会社 タップ
		資格者氏名	管理建築士 小濱 定和
		登録番号	1級建築士 第172077号 登録番号 第190-1411号
		所在地	沖縄県那覇市宇上間210番地4



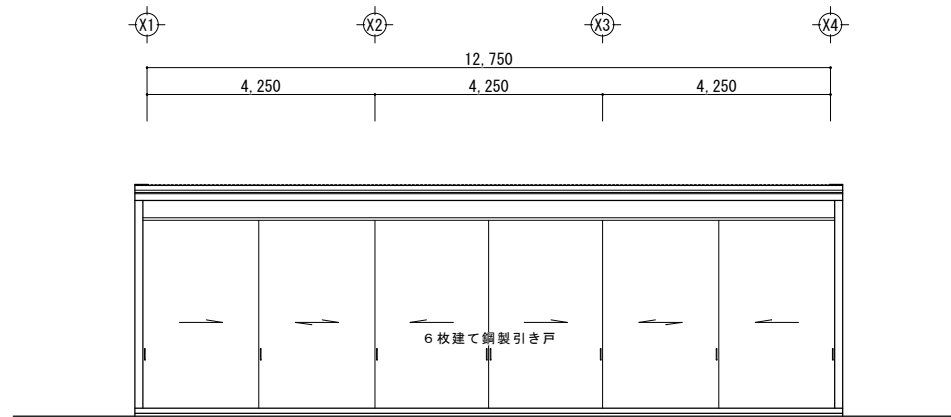
北側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100



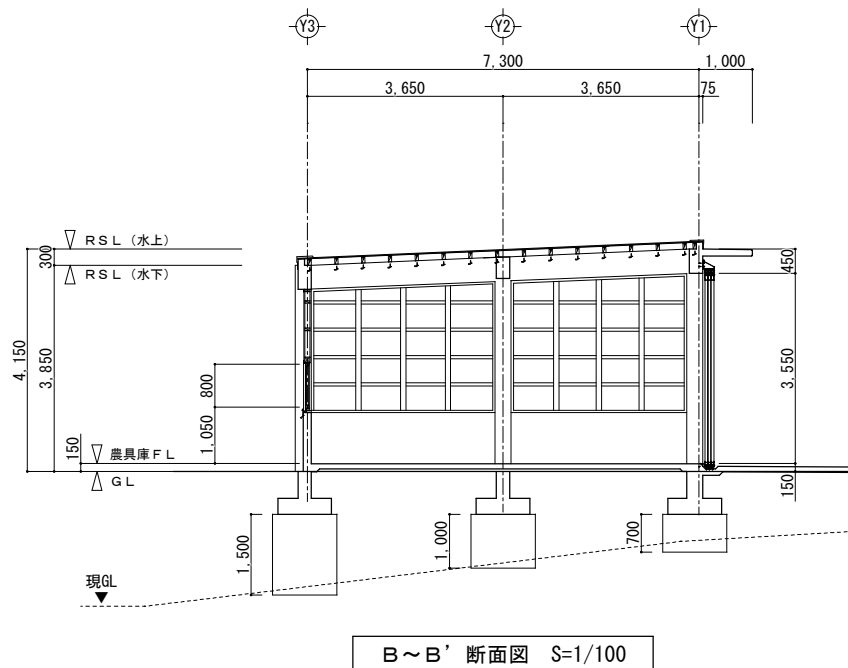
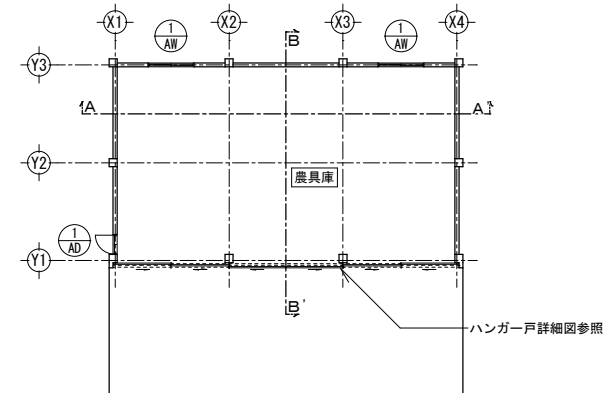
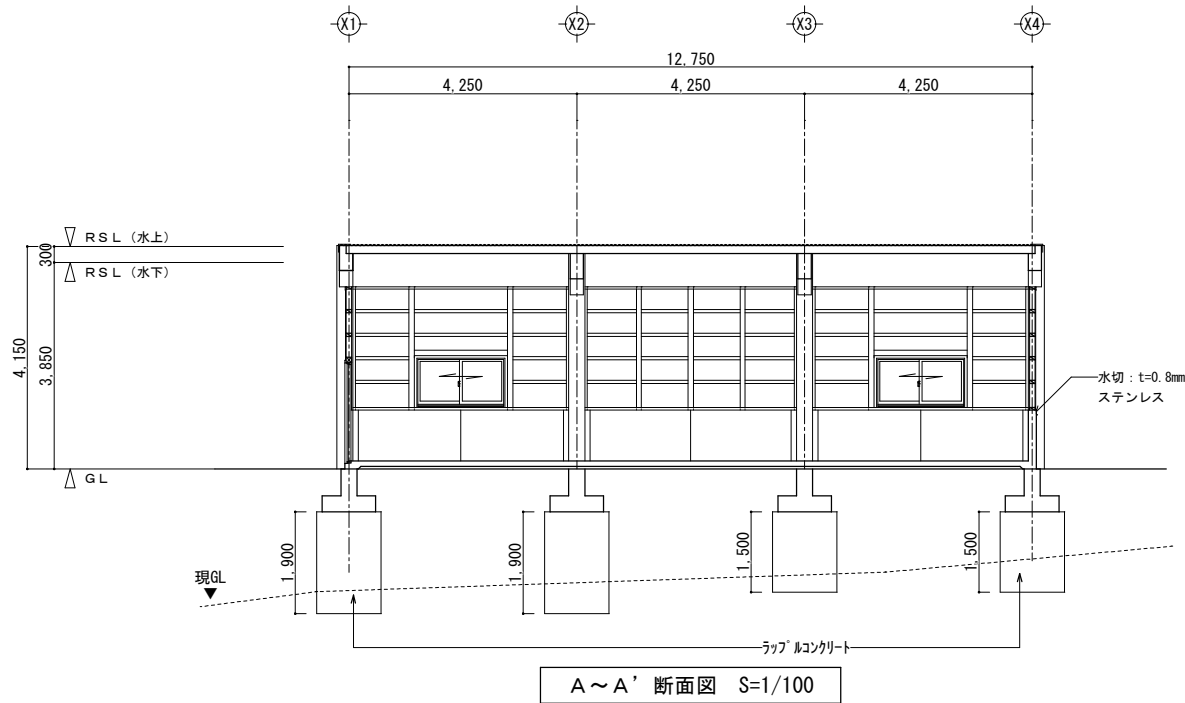
南側立面図 S=1/100

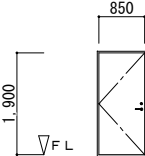
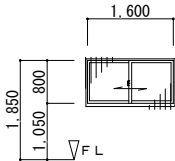


東側立面図 S=1/100

黒島 亨太

工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事	工事年度	令和 2 年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田 194番1・199番1	図面名称	農具庫: 立面図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	1/100
		図面番号	A ー 12
摘 要	管理建築士 設 計 製 図	名 称	株式会社 タップ
検 印		資格者氏名	管理建築士 小濱 定和
		登録番号	1級建築士 第 172077 号 登録番号 第 190-1411 号
		所 在 地	沖縄県那覇市字上間210番地4



鋼製建具表					S = 1 : 100	
位置、数量	① AD	農 具 庫	数量計	① AW	農 具 庫	数量計
			1			2
姿 図						
型 式	アルミ片開きフラッシュドア		アルミサッシ引き違い窓			
見 込 ・ 仕 上	70 シルバー		70 シルバー			
材 質	耐食アルミニウム合金押し出し材		耐食アルミニウム合金押し出し材			
ガ ラ ス	—		厚6.8網入りガラス			
金 物	ステンレス丁番 127型 3枚、ドアチェック レバーハンドル錠 1組 付属金物一式		クレセント 1組 戸車 4個 付属金物一式			
備 考	—		25角アルミ格子			

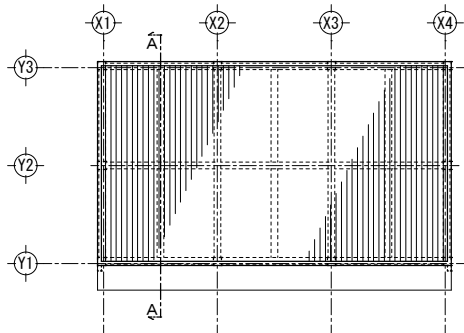
特 記 仕 様 書

鋼 製 建 具

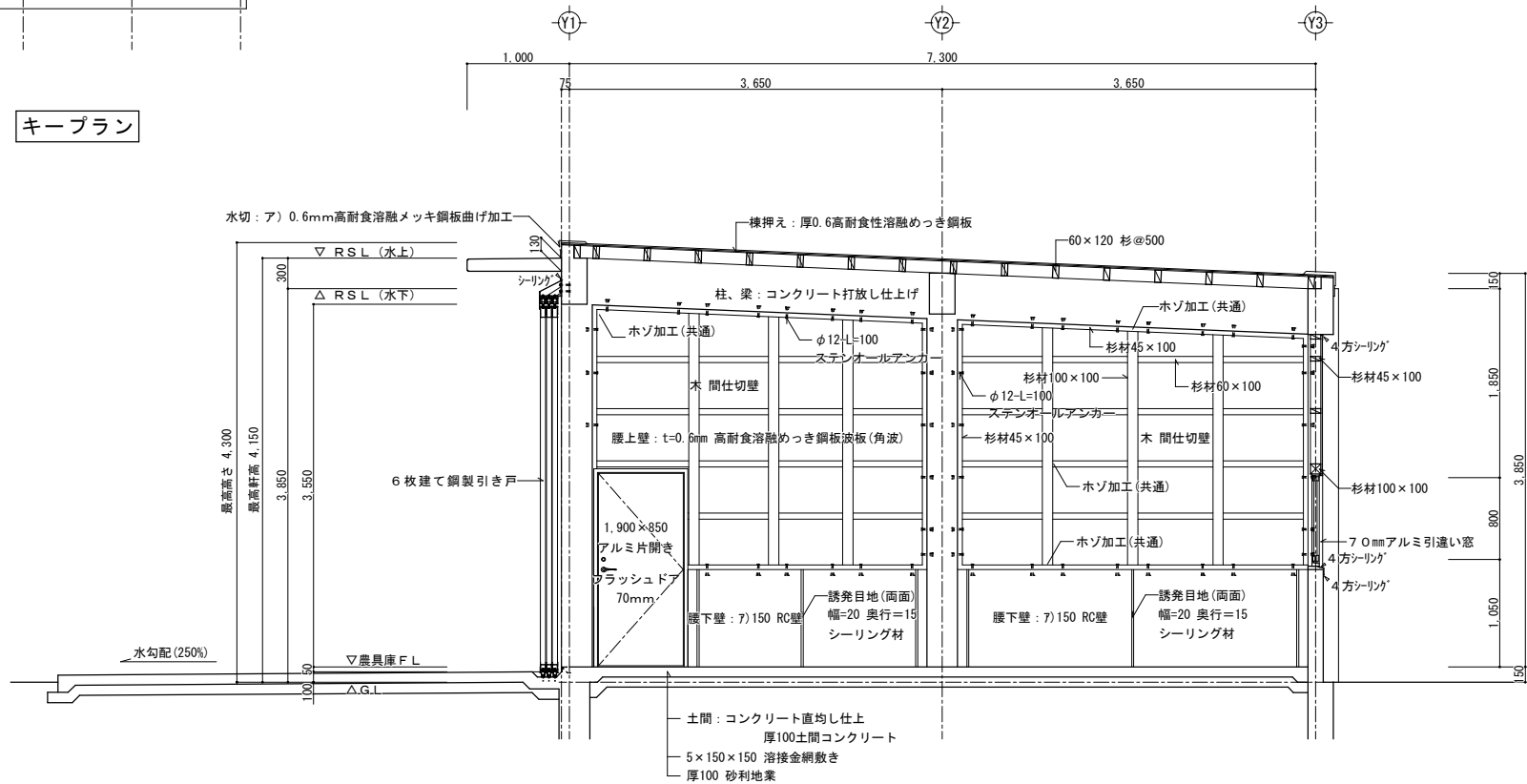
1. 本表の寸法は基準を示すもので、施工に際しては現場による
2. サッシは溶接取付とする450以下とする
3. 寸法は原則として、内法とし姿図は内観図とする
4. ドアチェックは、特記なき限りストップ付とする
5. 金具は全て見本を提出し、係員の承認を得る
(原則として、ステンレスSUS304)
6. 製品を搬入する場合は、合格品を搬入する
7. クレセントは、2重ロック式とする
8. 金物等の取付部(枠、柱共)は、全て、L.P-3、2tにて補強する
9. アルミ扉は、全てネオンプレングム付とする
10. 戸車の枠は、ステンレスとする
11. アルミ枠等がコンクリートモルタル等に接する箇所は、全て絶縁処理をする

黒島 亨太

工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事	工事年度	令和2年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田 194番1・199番1	図面名称	農具庫：断面図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	1/100
描 要	管理建築士 設 計 製 図	図面番号	A-13
検 印		名 称	株式会社 タップ
		資格者氏名	管理建築士 小濱 定和
		登録番号	1級建築士 第172077号 登録番号 第199-1411号
		所 在 地	沖縄県那覇市宇上間210番地4



キープラン



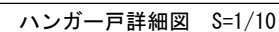
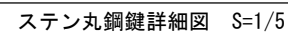
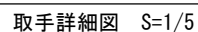
A-A 矩計図 S=1/50

黒島 亨太

工事名称	竹富美ら島地区牛舎等建築工事	工事年度	令和 2 年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町字小浜山田 194番1・199番1	図面名称	農具庫: 断面詳細図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	1/50
図面番号	A-14	図面番号	A-14
摘 要	管理建築士 設 計 製 図	名 称	株式会社 タップ
検 印		資格者氏名	管理建築士 小濱 定和
		登録番号	[級] 建築士 第 172077 号 登録番号 第 190-1411 号
		所 在 地	沖縄県那覇市字上間210番地4

- ・ 引戸
- ・ 厚0.8 ガルバリウム鋼板
 - 片面貼り (アルミリベット一止メ)
- ・ 骨組 : □-100×50×2.3、□-50×50×2.3、□-50×26×1.6
- ・ 台風時補強材 : □-100×100×2.3、M16 ナット、ボルト (ステンレス)
- ・ レール : ステンレスガイドレール 3 [-75×40×5
- ・ 上レール : ステンレスガイドレール 3 [-75×40×5
- ・ ステンレス重畳戸車 F=90 (ステンレス)
- ・ 取手 : 13丸鋼 (ステンレス)
- ・ 建具の雨仕舞い : 建具3方防水ゴム
- ・ 幅居の水切りカバー : 厚0.6ガルバリウム鋼板曲げ加工
- ・ 錠一側内より旋錠、その他付属金物一式

ボルト類は、溶融亜鉛メッキ製とする。



工事名称	竹富あしま地区生舎等建築工事	工事年度	令和 2 年度
工事場所	沖縄県八重山郡竹富町小浜山田 194番1・199番	図面名称	農具庫：ハンガー戸詳細図
発注機関	公益財団法人 沖縄県農業振興公社	縮 尺	1/5・1/10
			A — 15
描 要	管理建築士 設 計	製 図	
検 印			
設 計 者	名 称	株式会社 タップ	
	資格者氏名	管理建築士	小濱 定和
	登録番号	第 172077 号	
	登 録 所	第 190-1411 号	
	所在地	沖縄県那覇市宇土上210番地4	

